

## II-1 訪日外国人の旅行動向

### 1 2015年の訪日旅行の概況

中国人観光客急増で訪日外客数が1.5倍に拡大  
旅行消費額3兆4,771億円と過去最高

#### (1) 訪日外客数の動向

日本政府観光局（JNTO）によると、15年の訪日外客数は1,974万人（前年比47.1%増）となった（図II-1-1）。人数、伸び率とも過去最高を記録するとともに、45年ぶりに日本人出国者数（日本人の海外旅行者数）を上回った。日本政府が14年時点で20年の到達目標として提示していた2,000万人に迫る水準を前倒して達成したことになる。

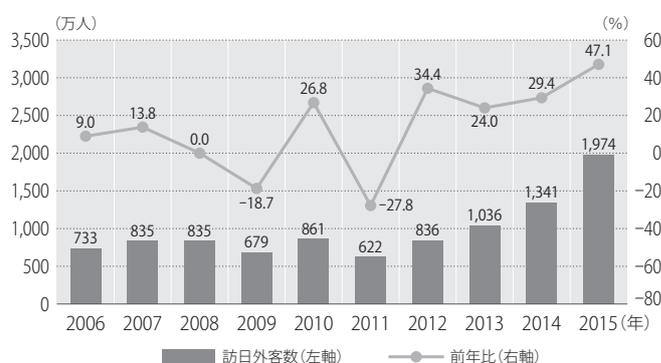
15年において訪日外客数が大きく増加した要因を分析すると、出発国・地域（以下、出発国）別では中国の寄与度が圧倒的に大きい（表II-1-1）。中国発クルーズ船の寄港数が大幅に増加した他、中国資本の航空会社による新規路線参入が増え出発地が多様化した。

中国に次いで訪日外客数の伸びへの寄与度が高い出発国は韓国や台湾であり、前年に引き続き近隣アジアからの訪日外

客数の増加が市場拡大を牽引。加えて、近隣アジア以外の主要出発国においても、ロシアを除き全ての国で訪日外客数が前年を上回った。

LCC（格安航空会社）の路線拡大、燃油サーチャージの値下がりによる航空運賃の低下、継続する円安基調がもたらした訪日旅行の割安感、ビザ発給要件の緩和、消費税免税制度の拡充などが、訪日外客数の伸びを後押ししたものと見られる。

図II-1-1 訪日外客数の推移



資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

表II-1-1 2015年における訪日外客数と訪日外国人旅行消費額

2015年	訪日外客数 (万人)				1人当たり旅行支出 (円/人)		訪日外国人旅行消費額 (億円)			
	シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)		前年比 (%)		シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)	
訪日外国人全体	19,737,409	100.0	47.1	47.1	176,167	16.5	34,771	100.0	71.5	71.5
韓国	4,002,095	20.3	45.3	9.3	75,169	▲ 0.9	3,008	8.7	43.9	4.5
台湾	3,677,075	18.6	29.9	6.3	141,620	13.1	5,207	15.0	46.9	8.2
香港	1,524,292	7.7	64.6	4.5	172,356	16.5	2,627	7.6	91.8	6.2
中国	4,993,689	25.3	107.3	19.3	283,842	22.5	14,174	40.8	153.9	42.4
タイ	796,731	4.0	21.2	1.0	150,679	3.2	1,201	3.5	25.0	1.2
シンガポール	308,783	1.6	35.5	0.6	187,383	20.3	579	1.7	62.9	1.1
マレーシア	305,447	1.5	22.4	0.4	150,423	3.4	459	1.3	26.6	0.5
インドネシア	205,083	1.0	29.2	0.3	147,149	22.7	302	0.9	58.6	0.5
フィリピン	268,361	1.4	45.7	0.6	126,567	20.2	340	1.0	75.1	0.7
ベトナム	185,395	0.9	49.2	0.5	194,840	▲ 18.0	361	1.0	22.3	0.3
インド	103,084	0.5	17.2	0.1	148,340	▲ 11.5	153	0.4	3.8	0.0
英国	258,488	1.3	17.5	0.3	210,681	12.5	545	1.6	32.2	0.7
ドイツ	162,580	0.8	15.9	0.2	171,031	15.0	278	0.8	33.3	0.3
フランス	214,228	1.1	20.0	0.3	209,333	7.5	448	1.3	29.0	0.5
イタリア	103,198	0.5	28.1	0.2	202,077	—	209	0.6	—	—
スペイン	77,186	0.4	27.5	0.1	227,288	—	175	0.5	—	—
ロシア	54,365	0.3	▲ 15.2	▲ 0.1	182,484	▲ 9.5	99	0.3	▲ 23.2	▲ 0.1
米国	1,033,258	5.2	15.9	1.1	175,554	6.2	1,814	5.2	23.0	1.7
カナダ	231,390	1.2	26.5	0.4	170,696	0.1	395	1.1	26.6	0.4
オーストラリア	376,075	1.9	24.3	0.5	231,349	1.5	870	2.5	26.2	0.9
その他	856,606	4.3	25.6	1.3	178,179	—	1,526	4.4	—	1.5

(注) 訪日外国人旅行消費額の「イタリア」「スペイン」の寄与度は「その他」に含まれる。

資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」

■ 上位3カ国・地域

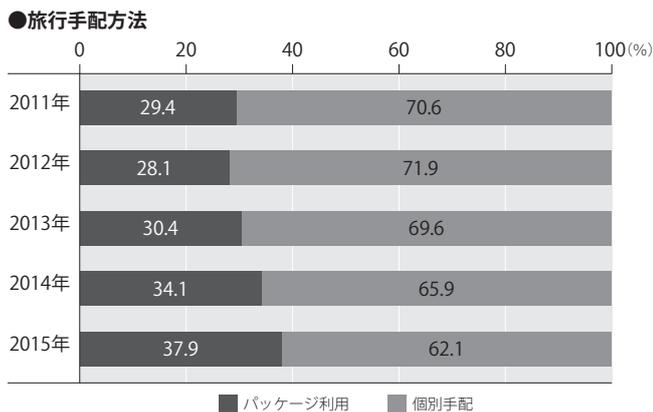
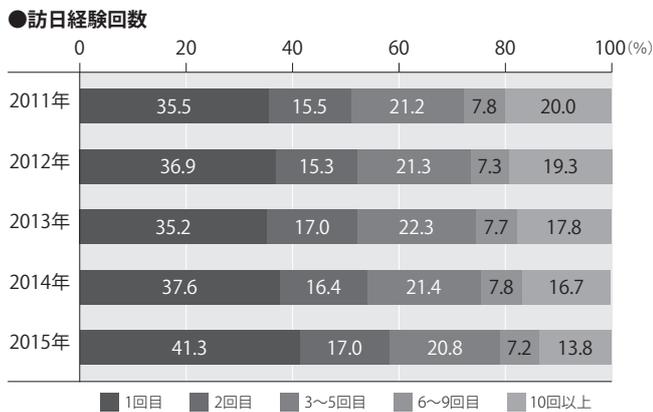
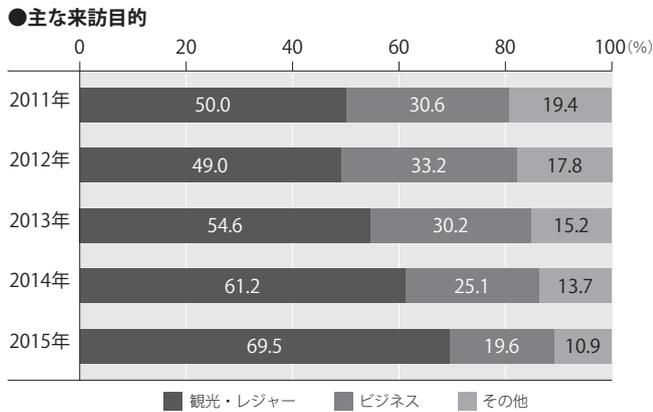
(2) 客層の変化 (図II-1-2)

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、ここ5年間は観光・レジャー目的の訪日外国人の割合が増える傾向にあり、15年は同割合がおよそ7割となった。なお、訪日外客数全体が大幅に増加しており、ビジネス目的客も人数ベースでは増加している。

訪日経験回数は、13年に尖閣諸島国有化(12年)の影響で中国発の団体ツアーが減少したために1回目の割合が減少したが、その後は1回目の割合が増加傾向にある。なお、2回目以上の訪日リピーターも人数ベースでは増加している。15年では1回目の人数が対前年6割増に対し、訪日リピーターは同4割増と推計される。

旅行手配方法では12年以降、パッケージ利用率が増加傾向にあり、15年は4割近くを占めた。

図II-1-2 訪日外国人の客層変化

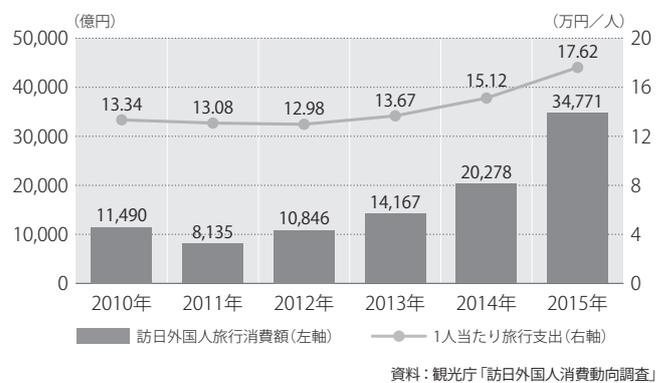


資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

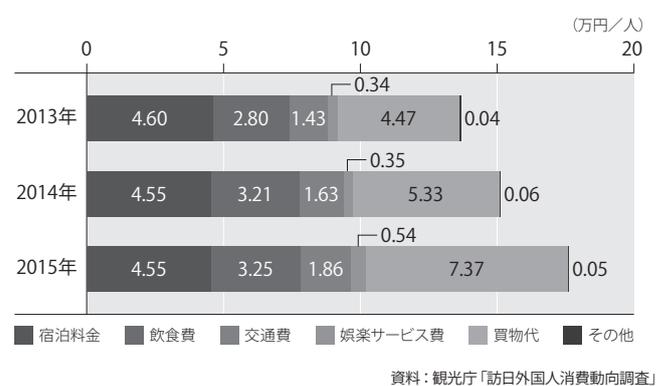
(3) 旅行支出の動向

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、15年の訪日外国人旅行消費額は3兆4,771億円(前年比71.5%増)であり、過去最高を記録した。訪日外客数の大幅な増加に加え、1人当たり旅行支出も17.62万円(同16.5%増)と過去最高の伸びを示した(図II-1-3)。旅行支出増加の要因を費目別に分析すると、主因は買物代の増加にある(図II-1-4)。13年から続く円安基調に加え、消費税免税制度の拡充が後押しとなり、中国からの旅行者を中心に買物代が増加した。買物代の1人当たり費目別支出額を推計すると、新たに消費税免税対象となった消耗品のうち化粧品・医薬品等が大きく増加。その他、電気製品や服・かばん・靴の支出額も増加している(図II-1-5)。

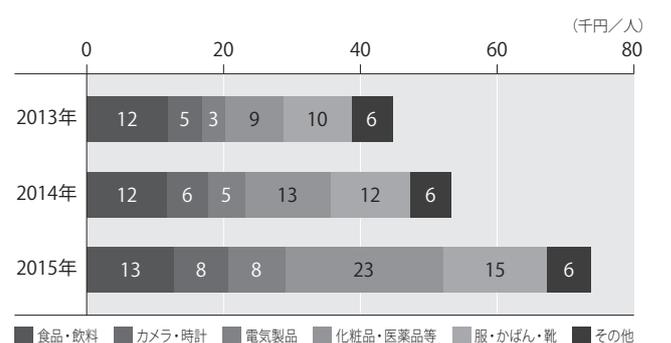
図II-1-3 訪日外国人旅行消費額の推移



図II-1-4 費目別に見る訪日外国人1人当たり旅行支出



図II-1-5 費目別に見る訪日外国人1人当たり買物代



観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

#### (4) 日本人海外旅行との対比

15年は、外国人の訪日旅行（インバウンド旅行）が日本人の海外旅行（アウトバウンド旅行）を人数、国際収支ともに上回るという、特筆すべき年であった。

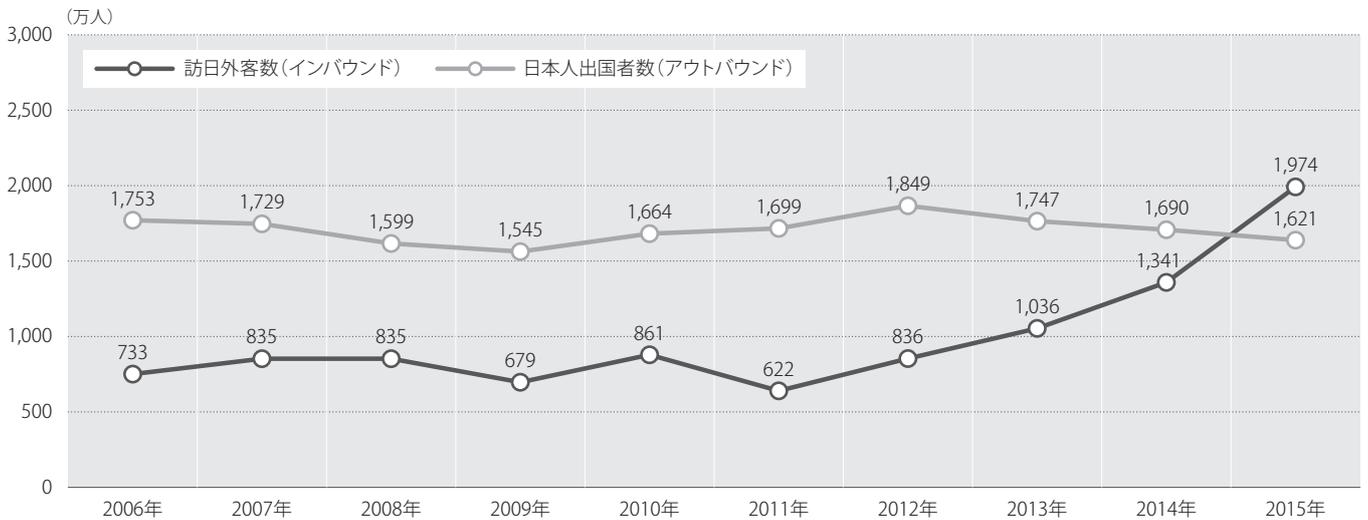
過去10年の旅行者数の推移を見ると、日本人の海外旅行者数に相当する「日本人出国者数」（法務省「出入国管理統計」）は1,500～2,000万人の間で推移しており、12年以降は減少基調であることが分かる。一方で、訪日外国人旅行者数に相当する「訪日外客数」（JNTO）は11年を底に増加基調となった。それでも前年14年には両者の間に350万人近くの差があったが、15年は訪日外客数が例年にない伸び率を記録したことで、日

本人の海外旅行者数を上回る結果となった（図II-1-6）。なお、訪日外客数が日本人出国者数を超過したのは1970年（日本人の海外旅行が自由化された1964年の6年後）以来である。

人の動きだけでなく、経済取引の面でも同様の動きが見られた。財務省・日本銀行「国際収支統計」によると、10年前の06年では、旅行支払がおよそ3兆円に対して旅行受取がおよそ1兆円と3倍の開きがあったが、14年には両者ともおよそ2兆円となり、翌15年には旅行受取が前年の1.5倍に拡大して旅行支払を上回った（図II-1-7）。

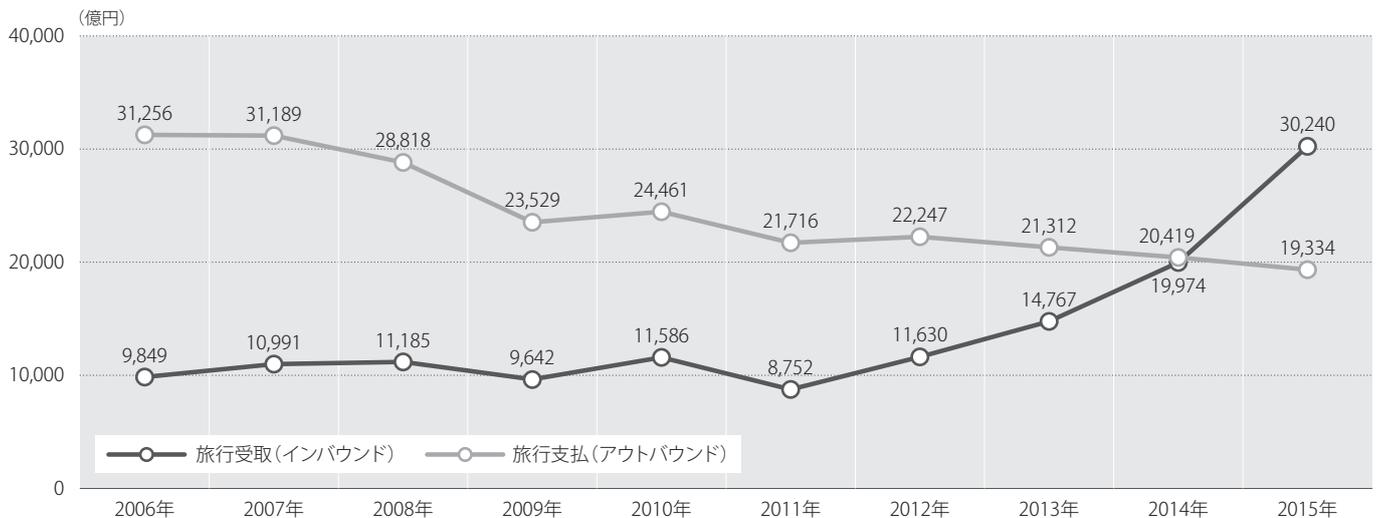
（川口明子）

図II-1-6 訪日外客数および日本人出国者数の推移



資料：法務省「出入国管理統計」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

図II-1-7 国際収支における旅行受取および支払の推移



資料：財務省・日本銀行「国際収支統計」

## 2 市場別に見る訪日旅行動向

訪日中国人が倍増、「爆買い」現象に注目集まる  
西日本宿泊者数の伸び率高く西高東低の様相

### (1) 国籍・地域別に見る訪日旅行動向

国籍・地域別に訪日外客数の動向を見ると、15年は主要20カ国・地域のうちロシアを除く全てで前年を上回り、過去最高を記録した(表II-1-2)。特に伸びが顕著なのは中国で、241万人から499万人へと倍増した。最も訪日客が多い国籍・地域は、13年までは韓国、14年は台湾であったが、15年は中国となり、2位の韓国と約100万人の差をつけた。訪日客の多い中国、韓国、

台湾の上位3カ国で訪日外客数全体のおよそ3分の2を占めるが、一方で東南アジアの成長も著しく、特に14年9月に数次ビザの発給要件が緩和となったフィリピンとベトナムではそれぞれ45.7%、49.2%の大幅な増加となっている。

日本滞在中の旅行支出を国籍・地域別に見ると、最も高い国は中国の28.4万円で、そのうち買物代は16.2万円と他の主要国・地域に比べ突出して高い。最も低い国は韓国の7.5万円で、費目別に見ても全体的に低い。泊数の長い欧米各国は宿泊費や交通費が高い傾向にある。冬にスキーを楽しむ人の多いオーストラリアは、娯楽サービス費が1.4万円と、他の主要国・地域に比べて高い(表II-1-3)。

### II-1-2 訪日外客数の推移(国籍・地域別)

		(単位:万人)											(単位:%)		
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016 上期	2015/ 2014年比	16上期/ 15上期比
訪日外客数全体		672.8	733.4	834.7	835.1	679.0	861.1	621.9	835.8	1036.4	1341.3	1973.7	1171.4	47.1	28.2
東アジア	韓国	① 174.7	① 211.7	① 260.1	① 238.2	① 158.7	① 244.0	① 165.8	① 204.3	① 245.6	② 275.5	② 400.2	238.3	45.3	31.0
	台湾	② 127.5	② 130.9	② 138.5	② 139.0	② 102.4	③ 126.8	③ 99.4	② 146.6	② 221.1	① 283.0	③ 367.7	215.6	29.9	20.3
	香港	29.9	35.2	43.2	55.0	45.0	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	86.8	64.6	25.5
	中国	65.3	81.2	③ 94.2	③ 100.0	③ 100.6	② 141.3	② 104.3	③ 142.5	③ 131.4	③ 240.9	① 499.4	307.7	107.3	41.2
東南アジア	タイ	12.0	12.6	16.7	19.2	17.8	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	48.6	21.2	14.7
	マレーシア	7.8	8.6	10.1	10.6	9.0	11.5	8.2	13.0	17.7	25.0	30.5	18.4	22.4	37.3
	シンガポール	9.4	11.6	15.2	16.8	14.5	18.1	11.1	14.2	18.9	22.8	30.9	16.1	35.5	23.9
	フィリピン	14.0	9.6	9.0	8.2	7.1	7.7	6.3	8.5	10.8	18.4	26.8	18.1	45.7	30.9
	インドネシア	5.9	6.0	6.4	6.7	6.4	8.1	6.2	10.1	13.7	15.9	20.5	12.8	29.2	32.0
	ベトナム	2.2	2.6	3.2	3.5	3.4	4.2	4.1	5.5	8.4	12.4	18.5	12.3	49.2	30.2
欧米・その他	インド	5.9	6.3	6.8	6.7	5.9	6.7	5.9	6.9	7.5	8.8	10.3	6.4	17.2	24.8
	米国	③ 82.2	③ 81.7	81.6	76.8	70.0	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	61.1	15.9	20.6
	カナダ	15.0	15.7	16.6	16.8	15.3	15.3	10.1	13.5	15.3	18.3	23.1	12.8	26.5	14.7
	英国	22.2	21.6	22.2	20.7	18.1	18.4	14.0	17.4	19.2	22.0	25.8	14.5	17.5	19.3
	フランス	11.1	11.8	13.8	14.8	14.1	15.1	9.5	13.0	15.5	17.9	21.4	12.3	20.0	21.3
	ドイツ	11.8	11.5	12.5	12.6	11.1	12.4	8.1	10.9	12.2	14.0	16.3	8.9	15.9	15.1
	ロシア	6.4	6.1	6.4	6.6	4.7	5.1	3.4	5.0	6.1	6.4	5.4	2.5	▲ 15.2	▲ 0.5
	オーストラリア	20.6	19.5	22.3	24.2	21.2	22.6	16.3	20.6	24.5	30.3	37.6	23.3	24.3	23.0
	その他	49.0	49.3	56.0	58.6	53.8	58.7	41.5	57.7	68.7	82.3	103.7	46.6	26.0	2.1

(注) ①②③は各年で旅行者数が多い国・地域の順位を示す。

表II-1-3 費目別に見る訪日外国人1人当たり旅行支出と旅行消費額(国籍・地域別、2015年)

		(単位:円/人)							(単位:億円)
		旅行支出 総額	宿泊料金	飲食費	交通費	娯楽 サービス費	買物代	その他	訪日外国人 旅行消費額
全国籍・地域		176,167	45,465	32,528	18,634	5,359	73,662	518	34,771
東アジア	韓国	75,169	22,495	18,203	8,421	3,306	22,195	549	3,008
	台湾	141,620	36,048	25,794	15,286	4,965	59,500	28	5,207
	香港	172,356	42,165	35,439	17,203	4,752	72,145	652	2,627
	中国	283,842	50,116	42,307	21,908	6,308	161,973	1,230	14,174
東南アジア	タイ	150,679	41,653	28,751	20,363	5,817	53,694	400	1,201
	シンガポール	187,383	63,677	38,761	20,524	3,968	60,415	39	579
	マレーシア	150,423	44,737	32,477	17,506	6,242	49,454	7	459
	インドネシア	147,149	50,840	27,734	24,327	3,889	40,338	20	302
	フィリピン	126,567	36,403	27,379	14,510	5,411	42,809	55	340
	ベトナム	194,840	50,360	41,368	21,889	5,642	75,164	416	361
欧米・その他	インド	148,340	58,847	36,729	19,080	2,266	31,255	162	153
	英国	210,681	97,220	46,367	29,667	6,188	31,239	0	545
	ドイツ	171,031	69,160	35,072	34,755	7,783	24,262	0	278
	フランス	209,333	84,677	41,704	36,968	9,169	36,760	55	448
	ロシア	182,484	59,267	34,689	24,538	8,193	54,270	1,527	99
	米国	175,554	74,017	40,889	25,465	5,883	29,247	53	1,814
	カナダ	170,696	60,886	36,387	31,107	8,652	33,635	30	395
オーストラリア	231,349	91,177	52,927	36,338	14,079	36,605	224	870	

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

①韓国

韓国人出国者数は年々増加傾向にあり、15年の出国率は38.1%に上る(表II-1-7)。方面別で見ると、14年は中国を訪れる韓国人旅行者数が最も多く、日本は2位であった。13年から14年にかけては、日本や中国などの東アジアに加え、ベトナム、シンガポール、マレーシア、インドネシアへの訪問者数も増加している(表II-1-5)。

訪日韓国人旅行者の平均泊数は5.2泊と主要国・地域の中で最も短い。平均泊数は近年減少傾向にあり、15年は前年に比べ0.8泊短縮した。訪日目的は観光レジャー比率が増加傾向にあり、15年は前年に比べ10.4ポイント増加し72.7%となった。一方、訪日経験回数が2回目以上のリピーター率は減少し67.5%となった(表II-1-4)。

訪日韓国人旅行者の1人当たり旅行支出は主要国・地域中最も低い7.5万円である。短期滞在が多いためであるが、買物代も2.2万円と他の主要国・地域と比べて低い(図II-1-8)。購入率が高い商品は菓子類で8割近くが購入しているが、購入者単価は5,600円程度とそれほど高くはない(表II-1-6)。

表II-1-4 訪日韓国人の旅行動向

	2014	2015	前年との差
訪日韓国人旅行者数(万人)	275.5	400.2	124.7
平均泊数(泊)	6.0	5.2	▲0.9
観光レジャー比率	62.3%	72.7%	10.4%
リピーター率	71.9%	67.5%	▲4.4%
ツアー利用率*1	27.2%	25.8%	▲1.4%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

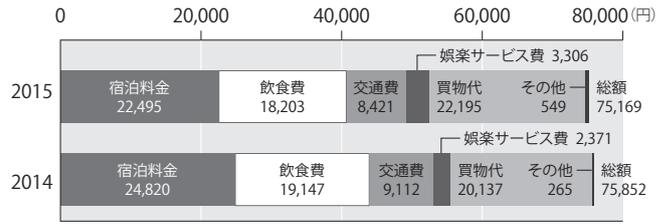
表II-1-7 韓国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2020
①人口(万人)*1	4,814	4,941	4,978	5,000	5,022	5,042	5,063	5,084	5,167
②韓国人出国者数(万人)*2	1,008	1,249	1,269	1,374	1,485	1,608	1,931	—	—
③出国率(%) (②÷①)	20.9	25.3	25.5	27.5	29.6	31.9	38.1	—	—
④訪日韓国人旅行者数(万人)*3	174.7	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5	400.2	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	17.3	19.5	13.1	14.9	16.5	17.1	20.7	—	—
⑥為替レート(100円/ウォン)*1	10.8	7.6	7.2	7.1	8.9	10.0	10.7	9.4	—
⑦GDP成長率(%) *1	3.9	6.5	3.7	2.3	2.9	3.3	2.6	2.7	3.1
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	18,658	22,151	24,156	24,454	25,998	27,970	27,195	25,990	30,317
⑨中間所得層(5,000~35,000米ドル)比率(%) *4	87.9	87.0	84.0	83.6	—	—	—	—	—
⑩高所得層(35,000米ドル以上)比率(%) *4	33.8	35.4	41.0	41.7	—	—	—	—	—

(注1) 斜体は推計値、(注2) ⑥為替レートの2015年の数値は2015年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、KTO(\*2)、JNTO(\*3)、Euromonitor(\*4)

図II-1-8 訪日韓国人の1人当たりの旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-5 アジア各国・地域への韓国人訪問者数 (単位：万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014
中国	NFV	407.6	418.5	407.0	396.9	418.2
日本	NFV	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5
香港	RFV	89.1	102.1	107.8	108.4	125.1
フィリピン	RFT	74.1	92.5	103.1	116.6	117.5
タイ	NFT	80.5	100.6	116.4	129.5	111.7
ベトナム	RFV	49.6	53.6	70.1	74.9	84.8
シンガポール	RFV	36.1	41.5	44.5	47.2	53.7
台湾	RFV	21.7	24.3	25.9	35.1	52.8
カンボジア	RFT	29.0	34.3	41.1	43.5	42.4
マレーシア	NFV	26.4	26.3	28.4	27.5	38.5
インドネシア	RFT	27.5	30.6	31.2	32.5	37.0

資料：日本政府観光局(JNTO)『日本の国際観光統計』(2014)

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計、  
[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

表II-1-6 費目別購入率および購入者単価(韓国、2015年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	菓子類	78.4	5,568
2位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	57.9	6,291
3位	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	35.5	8,413
4位	化粧品・香水	31.3	9,036
5位	服(和服以外)・かばん・靴	24.5	17,312
6位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	12.1	8,493
7位	その他買物代	8.7	14,899
8位	和服(着物)・民芸品	5.4	5,346
9位	書籍・絵葉書・CD・DVD	5.1	6,297
10位	電気製品	3.8	21,011
11位	カメラ・ビデオカメラ・時計	2.7	29,433

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

②台湾

台湾人出国者数は増加傾向が続いており、15年は1,318万人となった。人口は大きく増加していないものの出国率が増加傾向にあり、15年の出国率は56.1%と高い。出国者に占める訪日旅行者比率も増加傾向にあり、15年は27.9%と他の主要国・地域と比較して高い(表Ⅱ-1-11)。2014年までの方面別旅行先の第1位は中国であったが、日本を訪れる台湾人旅行者数の増加に伴い、2015年は380万人と、中国を抜いて第1位となった(表Ⅱ-1-10)。

15年の訪日台湾人旅行者の観光レジャー比率は83.3%と前年より2.0ポイント増加している。訪日2回目以上のリピーター比率は79.3%と前年よりわずかに増加した。旅行形態を見ると、台湾人旅行者はツアー利用率が高い傾向にあり、15年も半数超をツアー利用が占める(表Ⅱ-1-8)。

訪日台湾人旅行者の1人当たりの旅行支出は、前年より1.6万円増の14.2万円となった。特に買物代の増加が大きく、前年より1.3万円増となった(図Ⅱ-1-9)。

表Ⅱ-1-8 訪日台湾人の旅行動向

	2014	2015	前年との差
訪日台湾人旅行者数(万人)	283.0	367.7	84.7
平均泊数(泊)	6.8	6.4	▲0.4
観光レジャー比率	81.3%	83.3%	1.9%
リピーター率	76.7%	79.3%	2.6%
ツアー利用率*1	54.1%	56.5%	2.4%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-10 方面別台湾人旅行者数

	2011			2012			2013			2014			2015		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)												
1位	中国	284.7	17.4	中国	313.9	10.3	中国	307.2	▲2.1	中国	326.7	6.3	日本	379.8	27.8
2位	香港	215.7	▲6.6	香港	202.1	▲6.3	日本	234.6	50.4	日本	297.2	26.7	中国	340.4	4.2
3位	日本	113.6	▲17.5	日本	156.0	37.3	香港	203.9	0.9	香港	201.8	▲1.0	香港	200.8	▲0.5
4位	マカオ	58.8	▲12.0	韓国	53.3	25.9	韓国	51.9	▲2.7	韓国	62.7	20.9	タイ	60.0	43.0
5位	韓国	42.3	4.5	マカオ	52.7	▲10.3	マカオ	51.5	▲2.3	マカオ	49.3	▲4.2	マカオ	52.7	6.9

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料：台湾交通部観光局

表Ⅱ-1-11 台湾基本情報

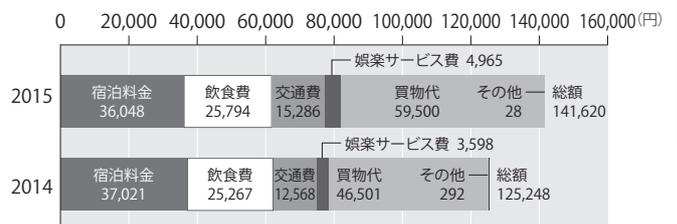
	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2020
①人口(万人)*1	2,277	2,316	2,323	2,332	2,337	2,343	2,349	2,355	2,379
②台湾人出国者数(万人)*2	821	942	958	1,024	1,105	1,184	1,318	—	—
③出国率(%) (②÷①)	36.0	40.6	41.3	43.9	47.3	50.5	56.1	—	—
④訪日台湾人旅行者数(万人)*3	127.5	126.8	99.4	146.6	221.1	283.0	367.7	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	15.5	13.5	10.4	14.3	20.0	23.9	27.9	—	—
⑥為替レート(円/台湾ドル)*1,*4	3.4	2.8	2.7	2.7	3.3	3.5	3.8	3.4	—
⑦GDP成長率(%)*1	5.4	10.6	3.8	2.1	2.2	3.9	0.7	1.5	2.8
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	16,503	19,262	20,912	21,270	21,888	22,619	22,288	21,607	24,632
⑨中間所得層比率(%)*5	81.4	79.0	74.3	73.9	—	—	—	—	—
⑩高所得層比率(%)*5	41.4	45.3	51.5	52.0	—	—	—	—	—

(注1) 斜体は推計値、(注2) ⑥為替レートの2015年の数値は2015年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、台湾交通部観光局(\*2)、JNTO(\*3)、FRB(\*4)、Euromonitor(\*5)

買物代のうち、購入率が最も高いのは医薬品・健康グッズ・トイレットリーで、菓子類よりも多く購入されている(表Ⅱ-1-9)。

図Ⅱ-1-9 訪日台湾人の1人当たりの旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-9 費目別購入率および購入者単価(台湾、2015年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	医薬品・健康グッズ・トイレットリー	73.9	19,092
2位	菓子類	67.5	9,363
3位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	63.3	9,654
4位	服(和服以外)・かばん・靴	47.1	28,782
5位	化粧品・香水	39.4	16,331
6位	電気製品	25.5	30,891
7位	書籍・絵葉書・CD・DVD	12.6	4,884
8位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	11.0	10,389
9位	和服(着物)・民芸品	8.3	13,121
10位	カメラ・ビデオカメラ・時計	7.1	35,373
11位	その他買物代	3.9	28,300

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

### ③香港

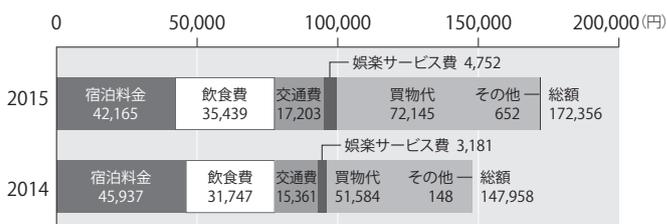
香港人出国者の大半は中国訪問者であるが、近年は減少傾向にある。一方、台湾や日本、シンガポール、韓国への訪問者が増加している(表II-1-13)。訪日香港人旅行者数は順調に増加しており、15年は過去最高の152.4万人に上った(表II-1-12)。

訪日香港人旅行者の特徴は、観光レジャー比率とリピーター比率が高いことである。訪日2回目以上のリピーター率は主要国・地域の中で最も高く、15年は81.9%を占めた(表II-1-12)。

訪日香港人旅行者の1人当たりの旅行支出は17.2万円で、前年比16.5%増となった(図II-1-10)。14年と比較して買物代の増加が目立つ。買物代は7.2万円で、主要国・地域の中では中国に次いで2番目に高い。

買物代のうち、菓子類に次いで服・かばん・靴の購入率が2番目に高く61.2%に上る(表II-1-14)。

図II-1-10 訪日香港人の1人当たりの旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-13 アジア各国・地域への香港人訪問者数 (単位：万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014
中国	NFV	7,932.2	7,935.8	7,871.3	7,688.5	7,613.2
台湾	RFV	79.4	81.8	101.6	118.3	137.6
日本	NFV	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6
シンガポール	RFV	38.8	46.4	47.2	54.0	63.1
韓国	NFV	22.9	28.1	36.0	40.0	55.8
タイ	NFT	31.6	41.2	47.4	58.8	48.4
フィリピン	RFT	13.4	11.2	11.9	12.6	—
インドネシア	RFT	7.8	8.7	9.1	8.7	11.2
ベトナム	RFV	—	—	1.4	1.0	1.5
カンボジア	RFT	0.4	0.5	0.8	0.9	1.0
マレーシア	NFV	—	—	—	—	—

資料：日本政府観光局 (JNTO) 『日本の国際観光統計』(2014)

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計  
[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

表II-1-12 訪日香港人の旅行動向

	2014	2015	前年との差
訪日香港人旅行者数 (万人)	92.6	152.4	59.8
平均泊数 (泊)	5.7	5.9	0.2
観光レジャー比率	88.5%	87.9%	▲0.6%
リピーター率	82.2%	81.9%	▲0.3%
ツアー利用率*1	51.7%	41.8%	▲9.9%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-14 費目別購入率および購入者単価 (香港、2015年)

購入率順位	費目	購入率 (%)	購入者単価 (円)
1位	菓子類	63.7	9,632
2位	服 (和服以外)・かばん・靴	61.2	33,847
3位	医薬品・健康グッズ・トイレットリー	60.6	15,744
4位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	58.8	10,751
5位	化粧品・香水	46.4	21,152
6位	書籍・絵葉書・CD・DVD	14.5	4,241
7位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	14.2	13,423
8位	電気製品	13.9	22,649
9位	和服 (着物)・民芸品	12.2	11,117
10位	カメラ・ビデオカメラ・時計	10.0	109,249
11位	その他買物代	4.6	36,269

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-15 香港基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2020
①人口 (万人) *1	684	705	711	718	722	727	731	736	754
②香港人出国者数 (万人) *2	7,230	8,444	8,482	8,528	8,596	—	—	—	—
③出国率 (%) (②÷①)	1057.3	1197.4	1192.6	1188.0	1190.3	—	—	—	—
④訪日香港人旅行者数 (万人) *3	29.9	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率 (④÷②)	0.4	0.6	0.4	0.6	0.9	—	—	—	—
⑥為替レート (円/香港ドル) *1,*4	14.2	11.3	10.2	10.3	12.6	13.6	15.6	14.4	—
⑦GDP成長率 (%) *1	7.4	6.8	4.8	1.7	3.1	2.6	2.4	2.2	3.0
⑧1人当たりGDP (米ドル) *1	26,554	32,421	34,941	36,589	38,170	40,079	42,390	43,828	51,747
⑨中間所得層 (5,000~35,000米ドル) 比率 (%) *5	59.0	51.7	47.8	45.6	—	—	—	—	—
⑩高所得層 (35,000米ドル以上) 比率 (%) *5	58.2	64.7	68.1	69.7	—	—	—	—	—

資料：IMF (\*1)、UNWTO (\*2)、JNTO (\*3)、FRB (\*4)、Euromonitor (\*5)

(注1) 斜体は推計値、(注2) ②香港人出国者数は日帰りを含まない、(注3) ⑥為替レートの2015年の数値は2015年1~6月の平均値

④中国

中国人出国者数は増加傾向にあり、14年に1億人を突破した(表Ⅱ-1-19)。アジア各国・地域の中では香港への訪問者が最も多く、日本は5位である(表Ⅱ-1-17)。訪日中国人旅行者数も15年は前年から倍増の499.4万人となり、主要国・地域の中でトップとなった。15年は前年に比べて、訪日客数の増加とともに観光レジャー比率とツアー利用率の増加、リピーター比率の減少が見られた。訪日中国人旅行者数の大幅な増加は、初めて訪日するツアー利用客が牽引したものと見られる。一方、平均泊数は前年から5.9泊減の12.7泊となった。観光レジャー客が増加したことに加え、業務目的客の平均泊数が減少したことによる(表Ⅱ-1-16)。

15年の訪日中国人旅行者の1人当たり旅行支出は、主要国・地域中トップの28.4万円に上る。前年比22.5%の増加で、費目別に見ると全ての費目で増加しており、特に買物代の伸びが目立つ。買物代は16.2万円と主要国・地域の中では際立って高く、いわゆる「爆買い」が行われていたことを示している(図Ⅱ-1-11)。

買物代のうち、購入率が高いのは化粧品・香水である。次いで菓子類、医薬品・健康グッズ・トイレタリーと続く。購入者単価は全体的に高いが、カメラ・ビデオカメラ・時計は8.9万円と特に高い(表Ⅱ-1-18)。

表Ⅱ-1-16 訪日中国人の旅行動向

	2014	2015	前年との差
訪日中国人旅行者数(万人)	240.9	499.4	258.5
平均泊数(泊)	18.6	12.7	▲5.9
観光レジャー比率	55.1%	72.3%	17.2%
リピーター率	44.2%	37.0%	▲7.2%
ツアー利用率*1	44.1%	57.4%	13.3%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

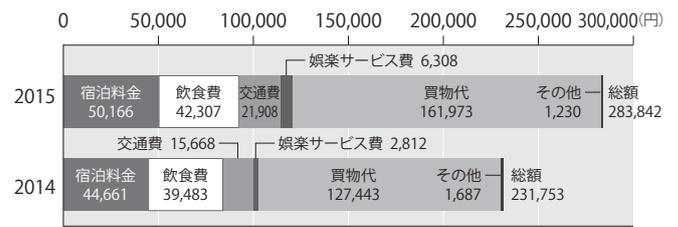
表Ⅱ-1-19 中国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2020
①人口(万人)*1	130,756	134,091	134,735	135,404	136,072	136,782	137,462	138,145	140,913
②中国人出国者数(万人)*2	3,055	5,739	7,025	8,318	9,819	11,664	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	2.3	4.3	5.2	6.1	7.2	8.5	—	—	0.0
④訪日中国人旅行者数(万人)*3	65.3	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9	499.4	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	2.1	2.5	1.5	1.7	1.3	2.1	—	—	—
⑥為替レート(円/人民元)*1	13.5	13.0	12.3	12.6	15.8	17.2	19.5	17.1	—
⑦GDP成長率(%) *1	11.3	10.6	9.5	7.7	7.7	7.3	6.9	6.5	6.0
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	1,752	4,478	5,523	6,256	6,995	7,626	7,990	8,240	11,457
⑨中間所得層(5,000~35,000米ドル)比率(%) *4	17.2	49.8	57.4	61.7	—	—	—	—	—
⑩高所得層(35,000米ドル以上)比率(%) *4	0.5	2.5	3.5	4.3	—	—	—	—	—

(注1) 斜体は推計値、⑥為替レートの2015年の数値は2015年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、中国国家旅游局(\*2)、JNTO(\*3)、Euromonitor(\*4)

図Ⅱ-1-11 訪日中国人の1人当たりの旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-17 アジア各国・地域への中国人訪問者数 (単位：万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014
香港	RFV	2,268.4	2,810.0	3,491.1	4,074.5	4,724.8
韓国	NFV	187.5	222.0	283.7	432.7	612.7
タイ	NFV	112.2	172.1	278.7	463.7	462.4
台湾	RFV	163.1	178.4	258.6	287.5	398.7
日本	NFV	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9
ベトナム	RFV	90.5	141.7	142.9	190.8	194.7
シンガポール	RFV	117.1	157.8	203.4	227.0	172.2
マレーシア	NFV	113.0	125.1	155.9	179.1	161.3
インドネシア	RFV	46.9	57.4	68.7	80.7	92.7
カンボジア	RFV	17.8	24.7	33.4	46.3	56.0
フィリピン	RFV	18.7	24.3	25.1	42.6	39.5

資料：日本政府観光局(JNTO)『日本の国際観光統計』(2014)

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計、[F]国境到着者数/[M]日帰りを含む旅行者数、[I]宿泊を伴った旅行者数

表Ⅱ-1-18 費目別購入率および購入者単価(中国、2015年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	化粧品・香水	73.8	47,191
2位	菓子類	69.9	13,302
3位	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	69.6	39,479
4位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	58.8	16,464
5位	服(和服以外)・かばん・靴	49.1	66,160
6位	電気製品	40.7	57,266
7位	カメラ・ビデオカメラ・時計	24.8	88,717
8位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	14.3	13,577
9位	書籍・絵葉書・CD・DVD	11.2	7,969
10位	和服(着物)・民芸品	9.5	24,130
11位	その他買物代	4.0	111,411

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

⑤タイ

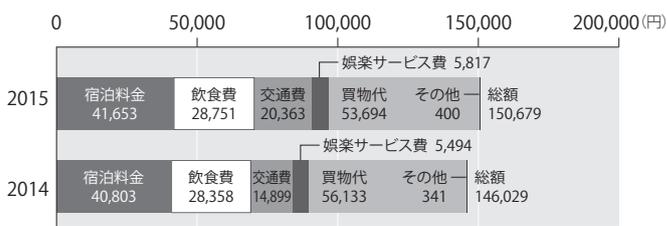
15年の訪日タイ人旅行者数は79.7万人で、前年に比べ13.9万人増加した(表II-1-20)。14年における前年からの増加幅は20.4万人であったため、増加のペースは昨年よりやや鈍化しているといえる。

14年におけるタイ人出国者のうち最も訪問者数の多い国・地域はマレーシアで、2番目が日本であった。13年までは日本より中国や香港への訪問者が多かったが、14年は逆転している(表II-1-21)。

15年は、訪日タイ人旅行者のうちリピーターが増加している。訪日2回目以上のリピーター率は前年に比べ4.9ポイント増の63.6%となった。一方、昨年は伸びていた観光レジャー比率は、前年からはほぼ横ばいの68.0%であった(表II-1-20)。

訪日タイ人旅行者の1人当たりの旅行支出は15.1万円で、14年よりやや増加した。費目別に見ると、交通費や宿泊料金が増加し、買物代が減少している(図II-1-12)。買物代のうち人気の費目は菓子類で、購入率が71.0%と高い(表II-1-22)。

図II-1-12 訪日タイ人の1人当たりの旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-21 アジア各国・地域へのタイ人訪問者数 (単位：万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014
マレーシア	NFV	145.9	144.2	126.3	115.6	129.9
日本	NFV	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8
中国	NFV	63.6	60.8	64.8	65.2	61.3
シンガポール	RFV	43.0	47.3	47.8	49.7	50.7
香港	RFV	45.0	48.0	50.2	53.5	48.5
韓国	NFV	26.1	30.9	38.7	37.3	46.7
カンボジア	RFT	9.6	11.7	20.1	22.1	27.9
ベトナム	RFV	22.3	18.2	22.6	26.9	24.7
インドネシア	RFT	12.4	14.2	15.0	10.1	13.7
台湾	RFV	9.3	10.3	9.8	10.4	10.5
フィリピン	RFT	3.7	3.8	4.1	4.8	—

資料：日本政府観光局(JNTO)『日本の国際観光統計』(2014)

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数、  
[M]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

表II-1-20 訪日タイ人の旅行動向

	2014	2015	前年との差
訪日タイ人旅行者数(万人)	65.8	79.7	13.9
平均泊数(泊)	11.5	11.1	▲0.4
観光レジャー比率	67.9%	68.0%	0.1%
リピーター率	58.7%	63.6%	4.9%
ツアー利用率*1	31.8%	31.5%	▲0.4%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-22 費目別購入率および購入者単価(タイ、2015年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	菓子類	71.0	13,558
2位	化粧品・香水	51.9	21,092
3位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	49.3	15,343
4位	服(和服以外)・かばん・靴	43.7	26,835
5位	医薬品・健康グッズ・トイレットリー	19.1	13,161
6位	カメラ・ビデオカメラ・時計	15.8	31,464
7位	和服(着物)・民芸品	11.3	18,584
8位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	11.2	11,174
9位	その他買物代	10.2	32,411
10位	電気製品	9.6	19,613
11位	書籍・絵葉書・CD・DVD	5.3	11,120

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-23 タイ基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2020
①人口(万人)*1	6,515	6,734	6,764	6,796	6,830	6,866	6,884	6,898	6,931
②タイ人出国者数(万人)*2	305	545	540	572	—	—	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	4.7	8.1	8.0	8.4	—	—	—	—	—
④訪日タイ人旅行者数(万人)*2	12.0	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	3.9	3.9	2.7	4.6	—	—	—	—	—
⑥為替レート(円/バーツ)*1	2.7	2.8	2.6	2.6	3.2	3.3	3.5	3.2	—
⑦GDP成長率(%) *1	4.2	7.5	0.8	7.2	2.7	0.8	2.8	3.0	3.1
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	2,906	5,063	5,479	5,846	6,148	5,889	5,742	5,940	6,992
⑨中間所得層(5,000~35,000米ドル)比率(%) *3	41.2	63.4	66.4	68.2	—	—	—	—	—
⑩高所得層(35,000米ドル以上)比率(%) *3	1.3	3.2	3.6	3.9	—	—	—	—	—

(注1) 斜体は推計値、(注2) ②タイ人出国者数は日帰りを含まない、(注2) ⑥為替レートの2015年の数値は2015年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、JNTO(\*2)、Euromonitor(\*3)

⑥米国

米国人出国者数は08年のリーマン・ショック以降減少が続いていたが、近年は出国率、出国者数ともに増加傾向にある(表II-1-26)。方面別旅行先ではメキシコとカナダが10年以降トップの座を占めている。アジアでは中国がトップで、次いでインド、日本の順が多い。近年はフィリピンへの人気も高まっている(表II-1-25)。

訪日米国人旅行者数は増加傾向にあり、15年は103.3万人と過去最高を記録した。わずかではあるが、出国者に占める訪日旅行者比率も増加し続けている(表II-1-26)。

米国はもともと業務目的客が多かったが、近年は観光レジャー比率が高まっており、15年は35.1%となった(表II-1-24)。

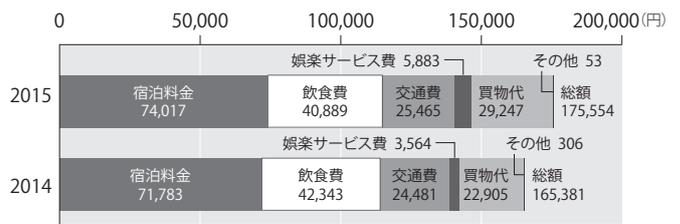
15年の訪日米国人旅行者1人当たりの旅行支出は17.6万円で、14年より増加した(図II-1-13)。旅行支出の中では宿泊料金の占める比率が高く、買物代が他の国籍・地域に比べ低い傾向にある。

表II-1-24 訪日米国人の旅行動向

	2014	2015	前年との差
訪日米国人旅行者数(万人)	89.2	103.3	14.2
平均泊数(泊)	13.8	14.7	1.0
観光レジャー比率	31.9%	35.1%	3.1%
リピーター率	56.0%	56.6%	0.7%
ツアー利用率*1	9.7%	7.7%	▲2.0%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-13 訪日米国人の1人当たりの旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-25 方面別米国人旅行者数

順位	2010			2011			2012			2013			2014		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	メキシコ(空路のみ)	538.0	2	メキシコ(空路のみ)	553.7	3	メキシコ(空路のみ)	577.2	4	メキシコ(空路のみ)	621.9	8	メキシコ(空路のみ)	693.1	11
2位	カナダ(空路のみ)	346.5	6	カナダ(空路のみ)	345.1	0	カナダ(空路のみ)	359.6	4	カナダ(空路のみ)	322.1	5	カナダ(空路のみ)	341.0	6
3位	英国	236.6	▲13	英国	240.5	2	英国	253.7	5	英国	264.0	4	英国	283.2	7
4位	ドミニカ共和国	179.6	23	フランス	175.6	1	ドミニカ共和国	225.2	34	フランス	200.2	▲1	ドミニカ共和国	270.9	-
5位	フランス イタリア	173.9	▲9	イタリア	170.2	▲2	フランス	202.4	15	イタリア ジャマイカ	179.9	▲7 19	フランス	212.4	6
10位	日本	119.7	▲21	日本	59.5	▲50	日本	85.5	44	日本	81.2	▲5	日本	80.0	▲1

アジア

順位	2010			2011			2012			2013			2014		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	中国	125.4	6	中国	110.8	▲12	中国	114.0	3	中国	113.2	▲1	中国	113.9	1
2位	日本	119.7	▲21	インド	94.6	23	インド	94.1	▲1	インド	104.5	11	インド	107.7	3
3位	インド	77.0	▲27	香港	67.6	▲5	日本	85.5	44	日本	81.2	▲5	日本	80.0	▲1
4位	香港	71.3	▲10	日本	59.5	▲50	香港	62.7	▲7	韓国	58.0	7	フィリピン	70.8	22
5位	韓国	59.9	▲10	台湾 フィリピン	51.3	0 39	フィリピン	59.9	17	フィリピン	58.0	▲3	韓国	52.3	▲10

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料：U.S. Department of Commerce, International Trade Administration, National Travel & Tourism Office

表II-1-26 米国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2020
①人口(万人)*1	29,612	30,976	31,207	31,439	31,670	31,913	32,160	32,433	33,568
②米国人出国者数(万人)*2	3,837	3,735	3,601	3,787	3,900	4,112	4,442	-	-
③出国率(%) (②÷①)	13.0	12.1	11.5	12.0	12.3	12.9	13.8	-	-
④訪日米国人旅行者数(万人)*3	82.2	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	2.1	1.9	1.6	1.9	2.0	2.2	2.3	-	-
⑥為替レート(円/米ドル)*1	110.2	87.8	79.8	79.8	97.7	105.6	121.1	111.6	-
⑦GDP成長率(%) *1	3.3	2.5	1.6	2.2	1.5	2.4	2.4	2.4	2.0
⑧1人当たりGDP(米ドル)*1	44,218	48,310	49,726	51,385	52,615	54,360	55,805	57,220	65,161
⑨中間所得層(5,000~35,000米ドル)比率(%) *4	44.3	39.0	38.7	37.9	-	-	-	-	-
⑩高所得層(35,000米ドル以上)比率(%) *4	69.6	73.8	73.9	74.5	-	-	-	-	-

(注1) 斜体は推計値、(注2) ②米国人出国者数はメキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数値、(注3) ④為替レートの2015年の数値は2015年1-6月の平均値

資料：IMF(\*1)、U.S. Department of Commerce, International Trade Administration(\*2)、JNTO(\*3)、Euromonitor(\*4)

⑦注目市場の動向～欧州

今回は新たな開拓市場として欧州の主要5カ国（英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン）に着目する。最も訪日客が多いのは英国で、15年は25.8万人が訪れている。次いでフランス、ドイツ、イタリア、スペインの順となっており、いずれも増加傾向にある。しかし、出国者に占める訪日旅行者比率は低く、1%未満となっている（表II-1-27）。

もともと、欧州からの訪日客はビジネス目的が多かったが、英国、ドイツ、フランスでは、15年の観光レジャー比率が前年より増加している。一方、訪日2回目以上のリピーター比率は減少しており、15年は初めて訪れる観光客が増加したと見られる。平均泊数は10泊以上と、東アジアからの訪日客に比べて長い傾向がある（表II-1-27）。

欧州からの観光客で特徴的なのは、ツアーなどを使用しない個別手配客の地方周遊が多い点である。15年の観光レジャー目的客の平均訪問都道府県数は、スペインで4.6と最も多く、次いでイタリアが4.4、ドイツとフランスが4.2、英国が3.9と多い。周遊のため、日本全国か、もしくは国内の決まったエリアのJR線や一部の私鉄を使用できる「JAPAN RAIL PASS」（以降JRパス）の使用も多く、観光レジャー目的客のJRパス購入率はスペインで7割、フランスとイタリアで5割、英国とドイツで4割程度である（表II-1-28）。観光レジャー目的客の都道府県別訪問率は、大都市圏（東京都、神奈川県、千葉県、京都府、大阪府）を除くと広島県や奈良県、岐阜県、兵庫県、山梨県で高い傾向にある。この他、英国では長野県、イタリアとスペインでは石川県も上位10位以内にランクインしている（表II-1-29）。

表II-1-28 欧州主要5カ国の平均訪問都道府県数とJRパス購入率（2015年、観光レジャー目的客）

	英国	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン
平均訪問都道府県数	3.9	4.2	4.2	4.4	4.6
JRパスの購入率（%）	42.7	39.1	48.9	47.8	69.7

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-27 欧州主要5カ国の旅行動向

英国

	2014	2015	前年との差
出国者数（万人）	5,779.3	6,008.2	228.9
訪日英国人旅行者数（万人）	22.0	25.8	3.8
出国者に占める訪日旅行者比率	0.4%	0.4%	0.0
平均泊数（泊）	15.0	12.8	▲2.2
観光レジャー比率	36.5%	42.6%	6.1%
リピーター率	55.1%	47.0%	▲8.1%

ドイツ

	2014	2015	前年との差
出国者数（万人）	7,510.0	—	—
訪日ドイツ人旅行者数（万人）	14.0	16.3	2.2
出国者に占める訪日旅行者比率	0.2%	—	—
平均泊数（泊）	12.3	12.1	▲0.2
観光レジャー比率	26.2%	37.2%	11.0%
リピーター率	59.0%	57.7%	▲1.3%

フランス

	2014	2015	前年との差
出国者数（万人）	2,643.0	—	—
訪日フランス人旅行者数（万人）	17.9	21.4	3.6
出国者に占める訪日旅行者比率	0.7%	—	—
平均泊数（泊）	15.6	14.8	▲0.8
観光レジャー比率	49.4%	56.3%	7.0%
リピーター率	50.6%	46.2%	▲4.4%

イタリア

	2014	2015	前年との差
出国者数（万人）	2,779.8	—	—
訪日イタリア人旅行者数（万人）	8.1	10.3	2.2
出国者に占める訪日旅行者比率	0.3%	—	—
平均泊数（泊）	—	13.8	—
観光レジャー比率	—	51.5%	—
リピーター率	—	39.1%	—

スペイン

	2014	2015	前年との差
出国者数（万人）	1,124.6	—	—
訪日スペイン人旅行者数（万人）	6.1	7.7	1.6
出国者に占める訪日旅行者比率	0.5%	—	—
平均泊数（泊）	—	15.4	—
観光レジャー比率	—	66.6%	—
リピーター率	—	27.2%	—

資料：日本政府観光局（UNTO）「訪日外客数」「日本の国際観光統計」（2014）  
観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-29 欧州主要5カ国の都道府県別訪問率（2015年、観光レジャー目的客）

（単位：%）

	英国		ドイツ		フランス		イタリア		スペイン	
1位	東京都	94.1	東京都	87.9	東京都	90.7	東京都	91.4	東京都	94.3
2位	千葉県	77.1	京都府	56.8	千葉県	68.5	千葉県	82.2	千葉県	77.5
3位	京都府	55.3	千葉県	56.7	京都府	64.9	京都府	72.6	京都府	74.2
4位	大阪府	27.8	大阪府	42.7	大阪府	43.8	大阪府	45.0	大阪府	53.3
5位	広島県	21.5	広島県	27.2	広島県	21.9	広島県	29.0	広島県	29.3
6位	神奈川県	18.8	神奈川県	16.3	神奈川県	21.0	奈良県	21.0	神奈川県	24.9
7位	長野県	13.0	奈良県	11.1	奈良県	14.7	石川県	14.5	岐阜県	20.2
8位	奈良県	8.9	兵庫県	10.1	岐阜県	12.2	岐阜県	14.3	奈良県	16.5
9位	山梨県	6.6	山梨県	8.7	山梨県	7.9	神奈川県	11.6	石川県	11.2
10位	愛知県	6.5	岐阜県	8.3	兵庫県	7.4	栃木県	8.6	兵庫県	8.8

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(2) 目的地別に見る訪日旅行動向

法務省「出入国管理統計」によると、15年に入国した外国人人数は1,969万人（前年比39.1%増）であった。入国港の所在地別に見ると、全ての地域で増加しており、特に中部や近畿、四国地方では前年比5割増を超える高い伸びを示した（表Ⅱ-1-30）。

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、15年における外国人延べ宿泊者数（従業員数10人以上の宿泊施設を利用した外国人に限る）は前年比4割増の6,051万人泊で、14年に引き続き高い伸びを記録した（表Ⅱ-1-31）。着地別に見ると、全ての地域で前年比プラスとなっており、特に中部や中国、九州地方で伸び率が6～7割増と高い。一方、従来から延べ宿泊者数の多い関東地方は31.4%増にとどまった。また、延べ宿泊者数の多い3都府の中では、大阪府の伸び率が45.3%と高く、これに比べ東京都の伸び率は28.4%と低い。地方部における前年からの伸び率は全体的に高いが、延べ宿泊者数の実数は地域によって大きな差があり、東北地方は53万人泊、四国地方は36万人泊と依然少ない。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、訪日外国人の訪問地における1人当たりの旅行中支出（パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金などの滞在費は含まない）は、関東が9.0万円と最も高く、次いで北海道（7.1万円）、沖縄（5.5万円）の順となっている。また、延べ宿泊者数の多い3都府の中では東京都が8.2万円と高く、京都府が2.2万円と低い（表Ⅱ-1-32）。

訪日外国人の多い近隣アジアの1人当たりの旅行中支出を国籍・地域別に見ると、どの地域においても中国が高い傾向にある。中でも関東地方では13.3万円と特に高く、主に買物代によるものと見られる。

（川村竜之介）

表Ⅱ-1-31 着地別外国人延べ宿泊者数 (単位：万人泊)

	2014年			2015年		
	実数	構成比	前年比	実数	構成比	前年比
日本全国	4,207	100.0%	34.7%	6,051	100.0%	43.8%
北海道	371	8.8%	31.3%	541	8.9%	46.1%
東北	35	0.8%	22.7%	53	0.9%	48.4%
関東	1,781	42.3%	33.1%	2,341	38.7%	31.4%
北陸信越	108	2.6%	19.8%	155	2.6%	43.5%
中部	285	6.8%	34.8%	491	8.1%	72.4%
近畿	1,015	24.1%	39.4%	1,487	24.6%	46.5%
中国	59	1.4%	28.9%	100	1.6%	67.7%
四国	24	0.6%	39.1%	36	0.6%	50.5%
九州	306	7.3%	28.0%	504	8.3%	64.4%
沖縄	223	5.3%	56.0%	344	5.7%	54.6%
(以下再掲)						
東京都	1,252	29.8%	32.5%	1,608	26.6%	28.4%
大阪府	595	14.2%	46.1%	865	14.3%	45.3%
京都府	295	7.0%	24.7%	409	6.8%	38.8%

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに（公財）日本交通公社作成  
 (注1) 従業員数10人以上の宿泊施設を利用した外国人に限る。  
 (注2) 日本在住の外国人も一部含まれている可能性がある。  
 (注3) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。

表Ⅱ-1-30 入国港の所在地別に見る外国人入国者数 (単位：千人)

	2014年			2015年		
	実数	構成比	前年比	実数	構成比	前年比
日本全国	14,150	100.0%	25.7%	19,688	100.0%	39.1%
北海道	839	5.9%	32.8%	1,155	5.9%	37.7%
東北	54	0.4%	4.3%	72	0.4%	32.1%
関東	6,730	47.6%	20.3%	8,666	44.0%	28.8%
北陸信越	117	0.8%	14.8%	142	0.7%	21.7%
中部	773	5.5%	24.9%	1,180	6.0%	52.7%
近畿	3,202	22.6%	35.7%	5,053	25.7%	57.8%
中国	154	1.1%	△12.0%	217	1.1%	41.1%
四国	44	0.3%	36.9%	68	0.3%	52.6%
九州	1,477	10.4%	21.5%	2,045	10.4%	38.4%
沖縄	759	5.4%	60.9%	1,092	5.5%	43.7%
(以下再掲)						
成田空港	4,932	34.9%	15.7%	6,118	31.1%	24.1%
関西空港	3,170	22.4%	36.5%	5,008	25.4%	58.0%
羽田空港	1,752	12.4%	35.5%	2,486	12.6%	41.9%

資料：法務省「出入国管理統計」をもとに（公財）日本交通公社作成  
 (注1) 法務省の正規入国者数の定義は、日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数と異なる。  
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。

表Ⅱ-1-32 訪問地別に見る訪日外国人1人当たり旅行中支出（2015年） (単位：万円/人)

訪問地	国籍・地域				
	全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国
北海道	7.1	5.0	6.9	10.3	10.1
関東	9.0	6.6	8.6	11.0	13.3
北陸信越	3.2	2.6	2.3	2.6	3.3
中部	3.2	3.6	3.4	6.0	2.7
近畿	4.7	3.9	3.9	5.8	6.0
九州	5.0	4.4	7.5	11.0	11.3
沖縄	5.5	3.7	4.9	5.8	10.6
(以下再掲)					
東京都	8.2	5.7	7.4	10.2	11.5
大阪府	3.5	3.2	3.0	4.5	4.8
京都府	2.2	1.0	1.2	1.5	1.9

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに（公財）日本交通公社作成  
 (注1) 訪問地における1人当たり旅行中支出の平均値である。  
 パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金などの滞在費は含まない。  
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。  
 (注3) 東北、中国、四国はサンプル数が少ないため割愛。

### III 世界の国際観光動向

世界の国際観光客到着数は前年比4.6%増  
中国マネーが世界の観光収入に貢献

#### (1) インバウンド（到着地側）の動向

国連世界観光機関（UNWTO）「Tourism Highlights」によると、15年における全世界の国際観光客到着数（International tourism arrivals）は11億8,600万人回（前年比4.6%増）となり、過去最高を記録した（表II-1-33）。ここ10年間の国際観光客到着数の推移を見ると、リーマン・ショック（08年）の影響で一時的に減少したが、全体的には増加基調にある。10年前と比較すると、15年の同値はおよそ1.5倍に拡大している。

アジア太平洋地域への国際観光客到着数は2億7,920万人回（前年比5.6%増）となり、世界全体の23.5%を占めた。アジア

太平洋地域の中で最も国際観光客到着数が多いエリアは北東アジアであり、世界全体の12.0%を占める。一方、15年は東南アジアの伸び率が前年比7.6%増と同エリアで最も高くなり、シェアを拡大した。

国際観光客到着数を到着国・地域別に見ると、フランス、米国、スペイン、中国、イタリアの順で大きい（表II-1-34）。15年は日本の国際観光客到着数が前年比47.1%増と大きく伸び、韓国や台湾を上回った。

国際観光収入（International tourism receipts）では、米国、中国、スペイン、フランス、英国の順で高い（表II-1-35）。6位のタイが前年比22.0%増（自国通貨ベース）と大きく伸びたが、日本と同様、消費単価の高い中国人観光客の増加がその要因と見られる。一方、マカオは前年比26.5%減と大幅に減少。中国政府が汚職摘発を強化したことでマカオでのカジノ収入が減少したと一部メディアで報じられている。

表II-1-33 世界の国際観光客到着数（到着地域別）

		国際観光客到着数（百万人回）					シェア（%）	前年比（%）		
		2000	2005	2010	2014	2015		13/12	14/13	15/14
世界全体		674	809	950	1,134	1,186	100.0	4.6	4.2	4.6
到着地域	ヨーロッパ	386.6	453.2	489.4	580.2	607.6	51.2	4.8	2.3	4.7
	アジア太平洋	110.4	154.0	205.5	264.3	279.2	23.5	6.9	5.7	5.6
	北東アジア	58.3	85.9	111.5	136.3	142.1	12.0	3.4	7.3	4.3
	東南アジア	36.3	49.0	70.5	97.3	104.6	8.8	11.3	3.0	7.6
	オセアニア	9.6	10.9	11.4	13.3	14.2	1.2	4.6	6.1	7.4
	南アジア	6.1	8.2	12.1	17.5	18.3	1.5	12.1	9.6	4.4
	アメリカ	128.2	133.3	150.2	181.9	192.6	16.2	3.0	8.5	5.9
	アフリカ	26.2	34.8	50.4	55.3	53.5	4.5	4.4	1.1	▲3.3
中東	22.4	33.7	54.7	52.4	53.3	4.5	▲2.9	6.7	1.7	

（注）2015年は暫定値

資料：UNWTO「Tourism Highlights」

表II-1-34 国際観光客到着数ランキング（到着国・地域別）

順位	到着国・地域	国際観光客到着数（百万人回）		前年比（%）		到着数調査方法
		2014	2015	14/13	15/14	
1位	フランス	83.7	84.5	0.1	0.9	TF
2位	米国	75.0	77.5	7.2	3.3	TF
3位	スペイン	64.9	68.2	7.0	5.0	TF
4位	中国	55.6	56.9	▲0.1	2.3	TF
5位	イタリア	48.6	50.7	1.8	4.4	TF
6位	トルコ	39.8	—	5.3	—	TF
7位	ドイツ	33.0	35.0	4.6	6.0	TCE
8位	英国	32.6	34.4	5.0	5.6	TF
9位	メキシコ	29.3	32.1	21.5	9.4	TF
10位	ロシア	29.8	31.3	5.3	5.0	TF
（11位以下の主な北東アジアの国・地域）						
	香港	27.8	26.7	8.2	▲3.9	TF
	日本	13.4	19.7	29.4	47.1	VF
	韓国	14.2	13.2	16.6	▲6.8	VF
	台湾	9.9	10.4	23.6	5.3	VF

（注）2015年は暫定値

資料：UNWTO「Tourism Highlights」

TF：国境での調査（日帰りを除く）  
TCE：公共的観光施設での調査  
VF：国境での調査（日帰りを含む）

表II-1-35 国際観光収入総額ランキング（到着国・地域別）

順位	到着国・地域	国際観光収入総額（10億USドル）		前年比（自国通貨）（%）		観光客到着数（百万人）	1人当たり国際観光収入（USドル）
		2014	2015	14/13	15/14		
1位	米国	191.3	204.5	7.8	6.9	77.5	2,638
2位	中国	105.4	114.1	—	9.8	56.9	2,006
3位	スペイン	65.1	56.5	3.9	4.0	68.2	828
4位	フランス	58.1	45.9	2.8	▲5.4	84.5	544
5位	英国	46.5	45.5	6.2	5.2	34.4	1,321
6位	タイ	38.4	44.6	▲2.7	22.0	29.9	1,493
7位	イタリア	45.5	39.4	3.6	3.8	50.7	777
8位	ドイツ	43.3	36.9	4.9	1.9	35.0	1,055
9位	香港	38.4	36.2	▲1.5	▲5.8	26.7	1,357
10位	マカオ	42.6	31.3	▲1.1	▲26.5	14.3	2,188

（注）2015年は暫定値

資料：UNWTO「Tourism Highlights」

## (2) アウトバウンド（出発地側）の動向

ここでは、世界の国際観光市場の動向を出発地別に概観する。

到着地域別と同様、出発地域別でも国際観光客到着数が多い地域はヨーロッパであり、世界全体の半数を占める。次いで国際観光客到着数の大きいアジア太平洋地域は、伸び率が他の地域に比べ高い状況が続いており、シェアの拡大が続いている（表II-1-36）。

国際観光支出（International tourism expenditure）の総額を出発国・地域別に見ると、前年に引き続き中国が2,922億USDと最も高く、2位の米国と圧倒的な差をつけた。世界全体に占めるシェアは23.2%という大きさであり、世界の国際観光収入への貢献度は極めて高い。伸び率も自国通貨ベースで前年比26.2%増であり、拡大の勢いも衰えていない（表II-1-37）。

（川口明子）

表II-1-36 世界の国際観光客到着数（出発地域別）

	出発地域別 国際観光客到着数（百万人回）					シェア（%）	前年比（%）			
	2000	2005	2010	2014	2015		13/12	14/13	15/14	
世界全体	674	809	950	1,134	1,186	100.0	4.6	4.2	4.6	
出発地域	ヨーロッパ	390.3	452.3	497.0	571.7	594.1	50.1	4.1	2.0	3.9
	アジア太平洋	114.1	152.8	205.9	271.6	289.5	24.4	7.0	7.1	6.6
	アメリカ	130.6	136.5	156.0	188.8	199.4	16.8	3.1	7.4	5.6
	アフリカ	14.9	19.3	28.3	34.4	35.4	3.0	2.3	7.3	2.9
	中東	12.8	21.4	33.3	36.8	36.3	3.1	11.1	4.9	▲ 1.6
	不明	11.1	26.7	29.8	30.8	31.5	2.7	—	—	—

（注）2015年は暫定値

資料：UNWTO「Tourism Highlights」

表II-1-37 国際観光支出総額ランキング（出発国・地域別）

順位	到着国・地域	国際観光支出総額（10億USD）		前年比（自国通貨）（%）		シェア（%）	出発数（百万人回）	到着数調査方法
		2014	2015	14/13	15/14			
1位	中国	234.7	292.2	—	26.2	23.2	127.9	2,285
2位	米国	105.5	112.9	7.6	7.0	9.0	73.5	1,536
3位	ドイツ	93.3	77.5	2.1	▲ 0.6	6.2	—	—
4位	英国	62.6	63.3	3.5	8.9	5.0	64.2	986
5位	フランス	48.7	38.4	15.4	▲ 5.6	3.0	—	—
6位	ロシア	50.4	34.9	13.7	10.0	2.8	36.8	948
7位	カナダ	33.8	29.4	3.3	0.6	2.3	32.3	910
8位	韓国	23.2	25.0	3.0	15.6	2.0	19.3	1,295
9位	イタリア	28.8	24.4	6.9	1.4	1.9	27.5	887
10位	オーストラリア	26.4	23.5	▲ 1.3	6.9	1.9	9.5	2,474

（注）2015年は暫定値

資料：UNWTO「Tourism Highlights」